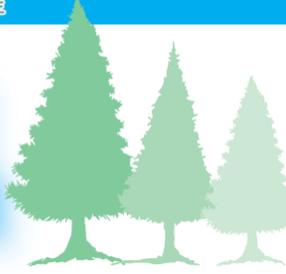


9ぎなみ



◆新年号◆

育てよう
子どもたちの夢を

80年の歩み
つなげよう、未来へ

「区議会だより」が折り込まれています

発行/杉並区
編集/広報課
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 3312-2111
FAX3312-9911 (広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

新春のお慶びを 申し上げます



▲災害のない一年を願って…
区役所前の出初式 (昭和34年1月)

杉並のお正月いま・むかし



▲良い一年となりますように… (大宮前囃子)
大宮前囃子は宮前周辺に伝わる民俗芸能で、区の登録無形民俗文化財です。大宮前郷土芸能保存会の皆さんが郷土博物館古民家で舞を披露します。詳細は、4面をご覧ください

活力ある新たな杉並の
まちづくりのために

杉並区長

田中良



あけましておめでとございます。新春にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。皆様にとって昨年ほどのような年だったでしょうか。また新たな気持で健やかな新年をお迎えのことと存じます。

昨年、区はこれからの10年、杉並区の進むべき道筋を示す新たな基本構想や総合計画を策定いたしました。また、区が誕生してから80周年を迎え、様々なイベントを開催してまいりました。こうした基本構想の策定やイベントの開催にあたりまして、多くの区民、事業者の皆様からお力添えを賜りました。紙面をお借りしまして、心から御礼申し上げます。

こうして、一年を振り返りますと「節目の年」であったと思えます。私は、80周年まつりにおきまして、2日間で約9万3千人と大勢の方にご来場いただき、活気と笑顔が溢れる素晴らしい実感しました。景気が低迷し、さらには雇用率も低下している、働き加減の社会情勢の今だからこそ、まつりのような賑わいを求める区民の方々が大勢いらっしゃるのことがわかりました。

一方で、東日本大震災や高齢者の社会的孤立など、安全安心に不安がよぎる出来事も影を落とし続けました。その結果、地域社会の日常のつながりに、高い関心が集まっています。私は、ハレの日に発揮できた皆様の大きな力を、日常の地域の中に展

開できないかと考えてまいりました。まさに元気が湧いてくるようなイベントを大切にすれば、人と人により良いまちづくりを目指して集う中から繋がりができると思っています。よって、災害への備えや無縁社会と呼ばれる状況を打開するなど、安全安心なまちづくりを目指してまいります。

人と人がつながる元気と活力のあるまちづくりとともに、今、子どもや若者の置かれている状況から、未来への夢や希望をしっかりと持つ機会を創出していくこと、すなわち現在と未来をつなげる取り組みも重要と考えます。12月3日に若者の就職活動を支援する杉並区就労支援センターの運営を開始しました。また、若者が文化・芸術・スポーツなど様々な分野での活動を通して、広く世界に目を向け、日本の将来と社会に関心を持ち、夢を思い描き、その夢に向かって健やかに成長していくようにと、次世代育成基金を創設し運用しています。

今年、これまで以上に地域での様々なつながりや世代を超えたつながりを大切に、基礎自治体の使命である区民の皆様の福祉の増進に取り組んでまいります。

世相は厳しい状況が続きますが、区民の皆様とともに杉並区から元気を発信し、夢と希望をともにつないでいきたいと思います。

育てよう子どもたちの夢を

子どもたちは多くの可能性を持っています。将来の夢を思い描き、さまざまなことにチャレンジする子どもたちを紹介します。区では、次世代育成基金を創設し、子どもたちを応援しています。

世界で活躍できる選手に

加賀田葵夏さん

加賀田葵夏さん(高南中学校3年)は、小さな頃からレスリングを始め、3年連続で全国中学生レスリング選手権大会と全国中学選抜選手権を制覇しました。さらに昨年8月にアゼルバイジャン・バクーで行われた世界カデットレスリング大会(15~17歳クラス)で見事優勝を果たしました。

●レスリングを始めたきっかけ

保育園からの幼なじみのお母さんが今の成國コーチでした。成國コーチがレスリングのクラブを始めると聞いて誘われたのがきっかけです。最初は、負けてばかりでしたが、小学校2年生くらいからだんだん勝てるようになってきたら楽しくなりました。もともとは運動神経が良くなかったと思っていたので、運動神経が良くなったこと、いろいろなことが体験できて良かったです。今はレスリングがとても楽しいです。

●練習の大切さ

毎日2~2時間半ほど練習しています。体育館ではマットを敷いて組みあいの練習をしますが、マットが敷けない場所では、筋トレを中心にしています。腕立てや懸垂などの基本的なトレーニングは欠かせません。トレーニングメニューはコーチやトレーナーが組み立ててくれています。



▶毎日の練習が大きな成果になります

●普段から心掛けていることは

よく寝ることです。食べ物には特に気を付けていませんが、試合前に体重の調整が必要な時は、甘いものや油っこいものは控えるようにしています。

●試合前は緊張しますか

はい。緊張しますが、試合の前に行っているウォーミングアップをいつもどおりするように心掛けています。きちんとウォーミングアップができれば、焦らず試合に臨むことができます。

●海外で試合を経験して、感じたこと

海外の選手は、日本にはいないタイプの選手が多く、さまざまな技を繰り出してきたりして、とても勉強になります。

●今後の目標

今度高校生になるので、当面の目標は、高校生の全国大会で優勝することです。将来の目標は、世界で活躍できる選手になることです。これからもがんばりますので、応援よろしくをお願いします。

◇成國晶子コーチのお話

決して身体能力が高いわけではありませんが、中学生のうちから世界で戦える力を身につけ、優勝したことは素晴らしい努力の才能です。東京でオリンピックが開催されることを願い、彼女が日の丸をあげてくれることを夢見しています。これからも女子レスリングの先輩たちを見習い、頑張っていけるように指導していきます。



◀加賀田葵夏さん

私たちの力で川をきれいに

井荻小学校6年生

井荻小学校の敷地内には善福寺川が流れています。善福寺川をきれいな川に戻すため、6年生が週1回自発的にあつまり、川の両岸にある歩道の清掃を行ったり、善福寺川を「ほたるのすむきれいな川にしよう」と広報活動を行っています。この活動が評価され、24年11月4日に杉並区青少年表彰を受賞しました。

●きっかけは、身近な善福寺川を学ぶことから

井荻小学校は、都立善福寺公園にほど近いところにあり、子どもたちは以前から野鳥観察や自然観察会を行い、自然に親しんできました。平成21年に5年生が社会科で鴨川の学習をしたことから身近な善福寺川に目を向け、善福寺川の水質・水量や構造について学びました。授業を受けた児童から「川の清掃を行いたい」との意見が出され、当番を決めて6年生に進級してからも善福寺川両岸の清掃を行ってきました。

「善福寺川をきれいにしたい」という思いは次の6年生から現在の6年生にも引き継がれ、週1回の清掃活動と、年1回、区から許可を得て実際に川に入り、生き物や水質の調査と清掃活動を行っています。

●楽しみながら活動するのが長続きの秘訣

清掃は、参加できる子どもたちが自主的に集まって活動しています。ごみ拾いの合間に追いかけっこをしたり、水鳥を観察したりと楽しみながら活動するのが長続きの秘訣です。子どもたちだけでなく、保護者、



▶落ち葉の中からごみを見つけるのは大変です

町会の方などたくさんの方が集まり、その活動は年々広がっています。トングを片手に学校から出発。歩きながらごみを拾っていきます。子どもたちは、われ先にとごみを探します。特にごみが多い場所はベンチや遊具の周りです。落ち葉に埋もれたごみを上手に見つけ出し、手際よく分別しながら、何が落ちていた



▶井荻小学校6年生と善福寺川清掃に参加した皆さん

のかをノートに記録します。紙くずやお菓子の包み紙のほか、特に多いごみは、たばこの吸い殻です。子どもたちは「たばこの吸い殻は大人が出すごみです。ポイ捨てをやめてほしい。」と話していました。

子どもたちの活動は、24年12月2日にあんさんぶる荻窪で行われた「善福寺川フォーラム」で発表され、「善福寺川をきれいな川にしたい」という思いを多くの人に訴えました。

◇住谷陽子先生のお話

「人のために役立つ活動は根気よく努力していれば、必ずそれを理解してくれる人がいる。信頼を得られる。」ということを実感してくれたと思います。最初に始めた子どもたちは、この活動が次の世代につながっていったことをとても喜んでいました。人と人のつながり、信頼をこれからも大切にしていってほしいと思います。

パフォーマンスで伝えたい

Cedar Youth80

Cedar Youth80(シーダーユースエイティ)は、区制施行80周年と5回目となる「すぎなみ舞祭」を記念して結成した青少年パフォーマンスユニットです。昨年7月8日の「すぎなみ舞祭プレイベント」でデビューを果たし、10月13日の「杉並区80周年まつり」、14日の「すぎなみ舞祭2012」ほかたくさんのイベントに出演。12月23日に開催した未成年者の飲酒喫煙防止啓発イベント「CY80の軌跡~私たちは変わった~」の公演を最後に惜しまれつつ解散となりました。

「Cedar Youth80」(以下CY80)は、24年4月に公募により集まった10~23歳の子どもたちです。青少年育成に関する催しなどで、その事業の趣旨や目的を歌・ダンス・演劇などのパフォーマンスを通して、同世代や地域の人々に伝えてきました。

●CY80に参加したきっかけ

「幅広い世代の人と交流し、地域活動にも参加できるから。」「大好きなダンスで社会貢献がしたいという自分の夢への一歩を踏み出せると思った。」とさまざまです。

●バラバラに集まった私たちが一つになれた

幅広い年齢層で構成されているため、経験年数や考え方が違い思いが通じないなど、当初は戸惑いもありました。しかし、回を重ねるごとに一体感が生まれ「みんなで活動していくうちに心が一つになった。」「仲良く遊んだり、時には真剣に意見をぶつけ合ったりして、年齢を越えて仲間たちと向き合えた。」と強い絆を得ることができました。

●活動を続けるために大変だったこと

週1回の練習のほか、個人での練習も必要でした。「みんな振り付けを覚えるのが早くて、ついていくのが大変でした。」「家で毎日DVDを見て練習をしました。」など、勉強や部活、仕事や習い事との両立は大変です。残念ながら途中でやめてしまったメンバーもいました。「両立のため、優先順位を考え、時間を計画的に過ごすようにしました。」「仕事が忙しく、一時は参加を諦めざるをえなくなりましたが、周りの人々の理解や協力もあって、今もCY80の仲間でいられることに感謝しています。」「とさまざまな努力をして活動を続けてきました。



◀Cedar Youth80の皆さん

●CY80で得たものは

「努力することの重要さと仲間を信頼し、思いやることの大切さ。」「ダンスの力です。ダンスは踊り手と観客をつなぎ、会場が一つになったとき感動とパワーが生まれる。その一体感をイベントに出るたびに感じる事ができました。」と笑顔で話してくれました。

◇CY80指導者・杉浦智恵さんのお話

8カ月の活動で子どもたちが学んだことは、かなり個人差があると思います。ただ、今すぐに何かが変わらなくても、数年たってから、この経験が活かされる時が来る子もいると思います。途中で抜けていった子たちの中には、自分のやりたいことを見つけた、といって抜けた子もいます。最後までやり遂げた子は、忍耐力、協調性を学んだことと思います。これからも、自分の目標に向かって頑張ってください。

言葉は違っても心は通じる

交流自治体中学生親善野球大会参加チーム

区制施行80周年記念事業の一環として昨年10月7日・8日に区内で行われた交流自治体中学生親善野球大会。杉並区から2チーム、福島県南相馬市から1チーム、台湾台北市から1チーム計69名が参加しました。この交流は、杉並区軟式野球連盟の「日本と同じように野球が盛んな台湾とぜひ交流をしたい」との願いから台北駐日経済文化代表処と調整を重ね開催が決まり、また、東日本大震災で被災した交流都市の福島県南相馬市の子どもたちも台湾側から招待され、23年12月に台湾で親善試合が実現しました。

交流自治体中学生親善野球大会は、中学生が野球を通じて国際交流を行うことで、異文化理解・国際理解を深め、国際社会を担う人として成長してほしいという思いから始まり、2回目の開催となりました。

6試合の親善試合のほか、大会前日に行われた交流会ではゲームなどを通して、子どもたちは言葉の壁を越え、身振り手振りも交えながら積極的なコミュニケーションを楽しみ、相互に異文化理解を深めました。

参加したオール杉並イースト・ウエスの各主将から寄せられた感想をご紹介します。

●親善試合で得た多くのこと

今回の交流試合と選抜チームでの経験は、技術面、精神面で親のものたくさんありました。試合前日の交流会では、言葉は通じなくてもお互いの思いを通わせることができると強く感じ、台湾チームのプレーから、野球に対する熱い気持ちが伝わってきました。

南相馬チームは、昨年の大震災を乗り越え復興に向かって頑張っている力強さが伝わってくる試合でした。僕たちも頑張らなくては、と逆にパワーをもらいました。

また、普段は対戦相手である選抜メンバーと、共に力を合わせて戦った経験により、さらにライバル心が強くなり、今までと違った心で戦えそうと、対戦が楽しみになりました。

これからも懸命に野球に取り組み、たくさんのことを学んでいきたいと思っています。(オール杉並イースト主将・濱田就大さん)

●団結することの大切さ

待ちに待った交流大会の日、第一試合は南相馬との試合でした。南相馬チームはみんなで団結して、全力でプレーをし、試合後、明るく声をかけてくれました。

翌日、台湾チームとの試合では球は速いし、体も大きく、驚いてしまいました。どんなに厳しいコースでもきっちり振り抜いて、簡単に外野まで運ばれてしまい、改めて実力の差を痛感しました。しかし、学べることもたくさんありました。杉並ウエストは、団結するまで時間がかかりましたが、試合や練習などを重ねていく内に雰囲気よくなりました。野球を通じ団結することも学びました。(オール杉並ウエスト主将・林健太さん)

◇杉並区中学生軟式野球協会副会長・吉野和芳さんのお話

セレクションに集まった中学生球児は70名ほど、その中から選ばれた40名で選抜チームを編成しました。日頃は、別々のチームで競い合う者が、一つの目標に向けて、協力し高めあっていく姿は、とても素晴らしいものでした。選手全員が、この大会に参加できたことの喜びを忘れずに、この経験を人生の宝物としてくれることを信じています。



▶各地域の代表が選手宣誓を行いました

新春対談を放送します



▲左から田中区長、尾藤イサオさん、井口区議会議員長
(座・高円寺で収録)

今年は、尾藤イサオさんを招き、次世代を担う若者たちへのメッセージや杉並の思い出などお話を伺いました。

【出演】田中良区長
井口かず子区議会議員
尾藤イサオさん

【放送局】ジェイコム東京
(デジタル11チャンネル、アナログ2チャンネル)

【放映日時】1月1日(祝)・3日(木)・5日(土)=午前8時・午後2時・6時・11時30分
2日(水)・4日(金)=午前7時30分・午後3時・6時・11時
6日(日)=午前7時30分・午後0時30分・6時・11時

◇尾藤イサオさんのプロフィール 昭和18年、台東区生まれ。寄席芸人の父と三味線奏者の母を持ち、幼い時から芸人の世界に身を置く。昭和30年代、高校時代に日劇ウエスタンカーニバルやプレスリーに感銘を受け昭和38年に「マックザナイフ」で東芝よりデビュー。舞台やドラマで活躍中。

子どもたちへのメッセージ

田中区長

無限の可能性を信じて努力してほしい

井口区議会議員長

失敗を知恵に変える「常勝志向」を大切にしてほしい

尾藤イサオさん

健康が第一。健康に気をつけて明るく元気に頑張してほしい

成人祝賀のつどい

【日にち】1月14日(祝) 【場所】杉並公会堂(上荻1-23-15)
【内容】式典、記念アトラクション
【対象】区内在住で平成4年4月2日～5年4月1日生まれの方
(該当する方には、24年12月中旬に案内状を送付しました)
【問い合わせ】児童青少年課青少年係 ☎3393-4760

時間	お住まいの地域(町名)
午前10時30分～11時30分 (10時開場)	阿佐谷北・阿佐谷南・梅里・高円寺北・高円寺南・成田西・成田東・堀ノ内・松ノ木・和田
午後1時～2時 (0時30分開場)	和泉・永福・大宮・上高井戸・久我山・下高井戸・高井戸西・高井戸東・浜田山・方南・宮前
3時30分～4時30分 (3時開場)	天沼・井草・今川・荻窪・上井草・上荻・清水・下井草・松庵・善福寺・西荻北・西荻南・本天沼・南荻窪・桃井

※お住まいの地域の時間にお越しください。

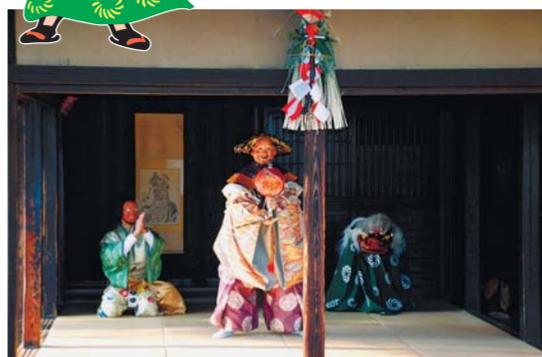
郷土博物館の新年行事

【場所】郷土博物館(大宮1-20-8) 【観覧料】100円。中学生以下は無料
【申し込み】当日、直接会場へ 【問い合わせ】郷土博物館 ☎3317-0841



新春吉例「大宮前囃子」

【日時】1月6日(日)午後2時～2時30分



大宮前囃子は、区登録無形民俗文化財の民俗芸能です。

「獅子」・「大黒天」・「もどき」が登場する、お正月らしいおめでたい舞「獅子舞・大黒舞」を郷土博物館の古民家で上演します。

舞を披露するのは、大宮前郷土芸能保存会の皆さんです。

急病診療と医療情報案内

まず、電話で確認！保険証・医療証を忘れずに

小児科・内科・外科・耳鼻咽喉科・歯科

☎3391-1599 休日等夜間急病診療所
受付は終了30分前まで(荻窪5-20-1杉並保健所内)

【小児科】平日：午後7時30分～10時30分

【内科・小児科・外科・耳鼻咽喉科】

土曜日：午後5時～10時 日曜・祝日、1月1日～4日：午前9時～午後10時

☎3398-5666 歯科保健医療センター
(荻窪5-20-1杉並保健所内)

【歯科】日曜・祝日、1月1日～3日：午前9時～午後5時(受付は4時まで)

その他の医療機関案内、急病対応の説明

☎3423-9909 杉並区急病医療情報センター
土・日曜日と祝日、1月1日～6日は24時間、平日は午後8時～翌日午前9時

☎5272-0303 東京都医療機関案内(ひまわり)
コンピューターによる自動応答サービス。毎日24時間対応。

年中行事

「小正月のまゆだんごかざり」

【日時】1月12日(土)～16日(水)午前9時～午後5時

※12日(土)は正午から。15日(火)は休館です。



1月15日を中心とする小正月には、全国各地で農耕にかかわりの深い行事が行われます。

区内では「まゆだんご」とよばれる紅白のだんごをかざり、蚕のまゆのよい出来や豊作を願う行事が行われてきました。

郷土博物館でも小正月を祝い、古民家に「まゆだんご」をかざります。

(発行日)毎月1日、11日、21日

